

令和5年度 第63回香川県中学校総合体育大会剣道競技

1、競技規則

(公財)全日本剣道連盟剣道試合審判規則・細則、並びに令和5年度(公財)日本中学校体育連盟剣道競技部申し合わせ事項、主催大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン(新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合審判法)、令和5年度香川県中学校体育連盟剣道競技部申し合わせ事項を遵守して実施する。

(1) 団体戦

- ① トーナメント戦方式で優勝、2位、3位を決定する。なお、3位決定戦は行わない。
- ② 試合は3本勝負、試合時間3分、勝敗が決しない場合は引き分けとする。
- ③ 勝者数法を用い、勝者の数によって団体の勝敗を決する。勝者数が同数の場合は、得本数の多い方を勝ちとする。
- ④ 勝者数、得本数共に同数の場合は、任意の代表者による代表者戦を行う。代表者戦は3分1本勝負とする。3分で勝敗が決しない場合は、2分刻みの延長戦を勝敗が決するまで行う。延長については、以下の通り実施する。
 - 延長戦は2分ずつ区切って行う。
 - 試合時間3分⇒延長2分⇒延長2分⇒【小休止(深呼吸をする程度)】
 - ⇒延長2分⇒延長2分⇒【面を外して休息・給水】
 - ※上記を繰り返す。
 - 【小休止】⇒開始線で10秒程度の深呼吸。
 - 【休息・給水】⇒立ったまま納刀し、待機場所に戻って面を外し、所定の場所で水分補給を行う。時間は3分とする。
 - ※選手の体調が優れない場合などは、小休止の際にも必要があれば給水の時間を設ける。
- ⑤ 補員と交替し一度退いた者は、再出場できない。

(2) 個人戦

- ① トーナメント戦方式で優勝、2位、3位を決定する。ただし、3位決定戦は行わない。
- ② 試合は3本勝負、試合時間3分とする。3分で勝敗が決しない場合は2分刻みの延長戦を勝敗が決するまで行う。延長については、団体戦の代表戦と同じ要領で行う。

2、事務連絡

- (1) 選手の変更は、各試合場の審判主任に申し出てください。
- (2) テーピング・サポーターを使用する場合は、届け出用紙に必要事項を記入のうえ、各試合場の審判主任に申し出てください。試合を続けていく中で、サポーターやテーピングを新たに使用する場合や巻き直す場合も届けが必要ですので、その都度申請をしてください。
- (3) 本大会の試合結果や写真・氏名などが報道機関や県中体連剣道競技部のホームページなどに掲載される場合があります。不都合のある方は大会終了までに本部まで申し出てください。
- (4) 試合が終わり、チームが入れ替わる時は、団体の礼が終わってから、前列に移動してください。
- (5) 本大会は竹刀の検量を行っています。検量の通った竹刀を必ず使用してください。また、試合の前後に竹刀の安全点検を十分に行ってください。
- (6) 稽古場所として、**2階剣道場**を終日開放します。サブアリーナは今回借りていません。
- (7) フラッシュをたいての写真撮影は、審判の妨げになりますので、ご遠慮ください。ビデオカメラでの撮影の際に、録画中に光がつく機種がございます。設定を確認しておいてください。ビデオカメラは2階観覧席から撮影してください。その際は、試合場に近い観覧席に移動していただいて構いませんが、密にならないよう注意をしてください。
- (8) ゴミは必ず各自・各校で持ち帰りください。
- (9) 貴重品は、各自・各校で責任をもって管理をしてください。
- (10) 2Fのカーテンは電動になっております。手で開閉したり、物を立てかけたりしないでください。
- (11) 水分補給の場所については、試合場付近では控えてください。勝ち上がって試合が連続している場合や、代表戦の場合については認めます。

3、選手・指導者に心掛けてほしいこと、共通理解を図ってほしいこと

- 意図的な時間空費、防御姿勢(勝負の回避)による相手に接近するような行為は、規則第1条に則り反則を適用する。
- 攻防や打突行動の中で相手と接触した場合、接触した瞬間の引き技や体当たりからの技を積極的に出す。
- 「つば(鏢)競り合い」になった場合は、技が出ない時には速やかに積極的に分かれる。審判員の「分かれ」や「止め」の宣告を待つのではなく試合者双方で分かれる努力をする。
- 「つば(鏢)競り合い」解消に至る時間はおよそ「一呼吸(目安としておよそ3秒)」とする。
- 相互に分かれようとしている途中に技を出さない。この場合は技を出しても有効打突とはしない。一方が分かれようとしている時に追い込んで打突する行為や、分かれようと思わせかけて打突したりする行為は反則を適用する場合がある。また、分かれる途中で竹刀を「叩いたり」「巻いたり」「押さえつけたり」「逆交差」をしない。
- 分かれる場合は剣先が完全に触れない位置まで互いに分かれる。(剣先を開いたり、下げたりしない。)
- 「つば(鏢)競り合い」を解消する場合は双方がバラバラに下がらない。また、双方が徐々に下がるのではなく、正しい「つば(鏢)競り合い」から鏢と鏢で競り合う(押し合う)力を利用して一気に下がる。
- 「つば(鏢)競り合い」の際、裏交差になっている場合は、正しい「つば(鏢)競り合い」(表交差)に戻してから、あるいは戻しながら解消する。再三繰り返したり、意図的な行為であれば合議の上、反則を適用する。

試合者は、構え合って攻め合う試合展開を意識し、
「公明正大」に真っ向勝負を心掛けてください。

4、感染症対策及び確認事項について

- (1) マスクの着用について
 - 選手・面マスクまたはシールドを着用してください。
 - 審判員・マスクは着用しない。ただし控え席でのマスク着用は個人の判断とします。
- (2) 面をつけていない時のマスクの取扱いについては、下記の文書の通りとします。
★香川県教育委員会「新学期以降の学校におけるマスク着用の考え方の見直し等について」
https://www.pref.kagawa.lg.jp/documents/39744/kenritu_gakkoutyuouate39.pdf
- (3) 服装について
 - 選手は原則、剣道着・袴を着て会場に来てください。遠方の学校や補助員を行う学校でやむを得ず更衣室を利用する場合は、密を避けて利用してください。
 - 応援生徒は稽古ができませんので、剣道着、袴姿では来ないでください。標準服や体操服、部活動で揃えたシャツなど、各校の定めた服装で参加してください。
- (4) 応援は拍手のみです。声援は控えてください。
- (5) こまめに手洗い・うがいを行ってください。消毒液やハンドソープなどはこちらで準備します。
- (6) タオル・ハンカチ・飲料水・剣道具・竹刀等は、自分専用のものを準備してください。
- (7) 保護者の館内への入場について
 - 入場人数に制限はございません。
 - 保護者の入場開始時刻 両日とも8:30(2階からお入りください。)
- (8) 応援生徒の館内への入場について
 - 男女の制限なく、全員が入場できます。
- (9) 入場について
 - 来賓・役員・審判員は1階入口から入場してください。
 - 監督・引率・選手・応援生徒・保護者の朝の入場場所は、2階入口とさせていただきます。
- (10) 2階観覧席の座席の指定はございません。譲り合って使用してください。
- (11) 試合をしているチームと、その2試合後までのチームは赤絨毯内の所定の位置で待機してください。それ以外のチームは、赤絨毯より後方のスペースもしくは2階観覧席で待機してください。

